

# パレート分布を用いた経済格差の検定

## A SIMPLE TEST FOR ECONOMIC INEQUALITIES USING PARETO DISTRIBUTION

西埜晴久\*

各務和彦†

大鋸崇‡

平成 20 年 1 月 23 日

### 概要

これまで、経済格差の計測などに用いられるジニ係数は、記述統計的に計算され、その数値に基づいて分析が行われてきた。本稿の目的は、パラメトリックに所得分布を推定し、その推定値の変化から統計的に格差の拡大(縮小)を検定する簡便な方法を提案することにある。本稿では、入手可能な分位データからパレート分布のパラメータの推定値が陽表的に得られることを示した。さらに、その推定量の漸近正規性を用いて、経済格差が異なるかを検定する検定統計量を提案した。最後に、これらの手法を用いて総務省統計局の家計調査のデータで実証分析を行った。分析の結果、統計的に有意な所得分配の不平等度の拡大や縮小を確認することができた。

**Key Words:** ジニ係数; 順序統計量; パレート分布; 平均値の差の検定.

**JEL Classification:** C12; C13; D31.

---

\*千葉大学法経学部, 〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33, *Email:* nishino@le.chiba-u.ac.jp, *Tel:* 043-290-2422, *Fax:* 043-290-2403.

†千葉大学法経学部, 〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33, *Email:* kakamu@le.chiba-u.ac.jp

‡千葉大学法経学部, 〒 263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33, *Email:* ohga@le.chiba-u.ac.jp